opusdei.org

属人区長のメッセージ(2020年11月22 日)

王であるキリストの祭日にあたり、オカリス師は、キリス トが私たちにおいても支配な さるために、聖ホセマリアの 言葉を黙想するよう勧めま す。

2020/11/22

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に! つい先日、オプス・デイにおける私 たちの献身の幾つかの性格にしまった。 長の手紙を皆さんに届けまめるしたいを また、を またいと思エル歌にも、協力者を はなっての手ができる。 また、協力者たちととないます。 がよりにして はないとのますがといる。 でものとのといることができまるでしょう。 きるでしょう。

昨日、コロナ禍の中で助祭職を受けた兄弟たちのために、引き続き主に祈ってください。また、このパンデミックに苦しむ世界中の多くの人々のためにも祈りましょう。

王であるキリストの祭日である今日、聖ホセマリアの次の言葉を黙想しましょう。「キリストが私を支配なさるためには、溢れるほどの恩恵が必要です。恩恵の助けがあればこそ、最後の鼓動、臨終のときの一

息、ぼんやりとした視線、ありふれた言葉、最も人間的な感情に至るまで、王であるキリストに対する《ホザンナ》に変えることができるのです」(『知識の香』、181)。

この理想から自分は程遠いと感じ、 不可能だと考えて落胆してはなりません。私たちにできることを良い意向で果たすなら、神の恩恵は、私たちが気づか無いかもしれませんが、 私たちの心を少しずつイエス・キリストの心に同化してくださるでしょう。

心からの愛情を込めて祝福を送ります。

あなたがたのパドレ

ローマ、2020年11月22日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkjcho-messeji-2020-11/(2025/12/12)